

平成28年度事業状況報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

■平成28年度事業状況報告	1頁
■平成28年度貸借対照表	7頁
■平成28年度理事会及び評議員会開催状況	8頁

■平成28年度事業状況報告

当財団の目的は、「民族学・文化人類学等の振興を図るため、関係諸機関と連携しその普及に努める。それらの活動を通して人類の多様な社会や文化に対する市民の理解と教養を培い、社会の発展に寄与する。」と定められ、その目的を達成するための各種事業を推進するとともに、現代社会の諸問題を解く鍵として、文化人類学・民族学の視点を活かし、国立民族学博物館をはじめ各種研究機関と連携し、文化振興や次世代育成等さまざまな社会貢献活動に取り組んでいる。

1.民族学・文化人類学等普及事業

一般市民を対象に、民族学・文化人類学の普及のため、国内唯一の民族学・文化人類学の研究センターである国立民族学博物館の協力のもと、学術情報をわかりやすく提供する各種事業を企画・実施

- 1) 「梅棹忠夫アーカイブズ資料の整理及びそれに基づく基礎データの整備」を協力のした。
- 2) 民族学・文化人類学の研究促進・普及を目的とした図書の企画として、家庭学術雑誌である機関誌『季刊民族学』4号（156号～159号）を編集、発行した。

協力：国立民族学博物館 編集・発行：千里文化財団

156号：「かつての朝食——フィリピン食文化の変容と普遍」ほか
（4月25日発行）

157号：特集「信州の山」ほか（7月25日発行）

158号：「二世紀モンゴル民族衣装考（前編）甦る大モンゴル帝国の栄華？」ほか
（10月25日発行）

159号：特集「日本酒 古今東西」ほか（平成29年1月25日発行）

- 3) 民族学・文化人類学の普及を目的とした各種講演会・セミナー等を企画・運営した。
平成28年度は、講演会（大阪）12回、（東京）6回、館内見学会 4回、体験セミナー（現地）3回、海外民族学研修の旅 2回、午餐会 1回を実施した。

① 友の会講演会（会場：国立民族学博物館）

第453回「アイヌの衣服から見えてきたこと」【特別展「夷酋列像」関連】

4月2日 講師：吉本忍（民博名誉教授） 参加人数：55名

第454回「国境の地に生きる——フィンランド・カレリアとエストニア・セトゥの人びと」
【第87回民族学研修の旅関連】

5月7日 講師：庄司博史（民博名誉教授） 参加人数：49名

第455回「シンドバード航海記の成立の謎を追って——中東地域の民衆文化研究への新視点」
【現代中東地域研究推進事業拠点設置関連】

6月4日 講師：西尾哲夫 参加人数：41名

第456回「中央アジアのイスラーム——ある家族の物語から」【新中央・北アジア展示関連】

7月2日 講師：藤本透子 参加人数：55名

第457回「フィリピンから海外に向かう人びと——日本と韓国の事例を中心に」

8月6日 講師：永田貴聖（民博 機関研究員） 参加人数：22名

第 458 回 「ネパール、『市民社会』の再編を展望する」【第 88 回民族学研修の旅関連】

9 月 3 日 講師：南 真木人 参加人数：50 名

第 459 回 「見世物の昭和・平成——人間ポンプ・安田里美のライフヒストリーから」

【特別展「見世物大博覧会」関連】

10 月 1 日 講師：鵜飼正樹（京都文教大学教授） 参加人数：51 名

第 460 回 「エジプトにおける空手道の新地平——大衆文化にさぐる中東のいま」

【現代中東地域研究推進事業拠点設置関連】

11 月 5 日 講師：相島葉月 参加人数：28 名

第 461 回 「インドにおける出産をめぐる信仰と産後ケア」

12 月 3 日 講師：松尾瑞穂 参加人数：30 名

第 462 回 「アイヌ文化を楽しく学ぶ——関西での活動を例に」【新アイヌの文化展示関連】

1 月 7 日 講師：藤戸ひろ子（ミナミナの会代表）、齋藤玲子 参加人数：65 名

第 463 回 「世界各地のイスラーム——みんぱくでその広がりを考える」

【現代中東地域研究推進事業拠点設置関連】

2 月 4 日 講師：山中由里子 参加人数：62 名

第 464 回 「パキスタン北西部の“異教徒”カラーシャ人」

3 月 4 日 講師：吉岡乾 参加人数：55 名

② その他講演会

会場：モンベル渋谷店（東京）

第 115 回 「国境の地に生きる——フィンランド・カレリアとエストニア・セトゥの人びと」

【第 87 回民族学研修の旅関連】

4 月 23 日 講師：庄司博史（民博名誉教授） 参加人数：46 名

会場：アイヌ文化交流センター（東京）

第 116 回 「『アイヌ・アート』をもっと身近に——イラストレーションから踊りまで」

【新アイヌの文化展示関連】

1 月 9 日 講師：小笠原小夜（アイヌ文化交流センター非常勤職員、イラストレーター）、齋藤玲子 参加人数：55 名

東京：モンベル御徒町店（東京）

第 117 回 「異文化が交差する物語——アラビアンナイトからのぞく中東世界」

2 月 25 日 講師：西尾哲夫 参加人数：48 名

③ みんぱく見学会（協力：国立民族学博物館）

第 63 回 特別展「夷酋列像——蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界」

4 月 2 日 講師：吉本忍（民博名誉教授） 参加人数：52 名

第 64 回 中央・北アジア展示

7 月 2 日 講師：藤本透子 参加人数：46 名

第 65 回 特別展「見世物大博覧会」

10 月 1 日 講師：鵜飼正樹（京都文教大学教授） 参加人数：40 名

第 66 回 アイヌの文化展示

2017 年 1 月 7 日 講師：齋藤玲子 参加人数：60 名

④体験セミナー（協力：国立民族学博物館）

第 72 回 「長良川鵜飼漁見学——鳥と語らい、川とともに生きる」

実施日：7 月 14 日、15 日[2 日間・岐阜県]

講師：卯田宗平 参加者数：20 名

漁業技術や景観を包括して、ユネスコ文化遺産登録を目指す長良川鵜飼漁の文化的価値を糸口に、自然と人との関わりについて考えた。

第 73 回 「目と舌で知るネパール——映像鑑賞と国民食『ダール・バート』を手で食べる」

実施日：9 月 30 日[東京都]

講師：南 真木人 参加者数：26 名

「食」と「映像」をとおして、多様な民族が暮らすネパールの文化や人びとの価値観について理解を深めた。みんなく映像番組の周知をはかり、ネパールの 30 年の社会変化を紹介した。

第 74 回 「遠山霜月祭見学——神と人が集う夜」

実施日：12 月 10 日、11 日[2 日間・長野県]

講師：櫻井弘人（飯田市美術博物館学芸員）、吉田憲司 参加者数：18 名

地域に密着した信仰と、日本古来の祭のあり方や文化継承について考えた。300 近い面を保有することを踏まえ、国内外の事例を比較しながら仮面の文化的意味も考えた。

⑤民族学研修の旅（協力：国立民族学博物館）

第 87 回 「フィンランドとエストニアの原風景に出会う——森の恵みと唄を愛する人びとを訪ねて」実施期間：8 月 1 日～9 日[9 日間・フィンランド、エストニア]

講師：庄司博史（民博名誉教授） 参加者数：24 名

フィンランド東部のカレリア地方、エストニア南東部のセトゥ地方。両地域では、民俗文化や宗教面でロシアの影響が見られるとともに、両国にとって周縁の地であるがゆえに独特の文化がのこっている。両地域を訪ね、境界に生きる人びとについて考えた。

第 88 回 「多民族国家ネパールの生活文化にふれる旅：映像がつなぐ人びとを訪ねて」

実施期間：平成 29 年 1 月 8 日～15 日[8 日間：ネパール]

講師：南 真木人 参加者数：20 名

標高差のある自然と多様な価値観をもつ人びとがすむ国ネパール。みんなく映像番組の取材先とさまざまなかたちでネパールに携わる在住日本人を訪ねながら、都市と地方、山地と平地を移動し、ネパール社会の諸相をさぐった。

⑥午餐会（協力：国立民族学博物館）

第 201 回 「なぜ日本食が世界にひろがったか」

開催日：10 月 13 日 講師：石毛直道（民博名誉教授） 参加者数：29 名

「和食」の世界文化遺産登録を踏まえ、日本の食文化がどのように海外各地で受け入れられているのかを紹介した。

2. 国立民族学博物館利用促進事業

国立民族学博物館の利用促進を目的として、一般市民を対象にした各種協力事業を実施した。

1) 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業を実施した。

- ① 国立民族学博物館 本館展示の展示ガイド更新のための企画補助業務、『展示案内』の編集業務を受託し実施
- ② 国立民族学博物館 特別展図録『見世物大博覧会』の編集業務を受託し実施
- ③ 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業
ミュージアム・ショップの運営：国立民族学博物館の映像資料の複製発行及び頒布、オリジナルグッズ等の制作及び頒布、現地産民族資料及び民族学・文化人類学関連図書の頒布をおこなった。

平成 28 年度教材頒布の取扱い内容：

□レプリカ、ポストカード類：

内容) 砂金の分銅、館銘石、儀礼用マント、ポストカード

□現地産民族資料（約 100 カ国）

内容) 芸能・儀礼資料(仮面、楽器他)、生活資料(衣類、嗜好品、装飾品他)

□ 民族学・文化人類学関連図書・映像音響資料

内容) 図書約 4,000 種、民族音楽等の CD・DVD 約 50 種

□記念品（オリジナル・グッズ）、便宜共用品

内容) Tシャツ、クリアファイル、一筆箋、スタンプ、クッキー、切手、雨傘 他

2) 国立民族学博物館の普及事業。

- ① 「国立民族学博物館友の会」の運営
- ② 「国立民族学博物館友の会」会員の増強
(維持会員・正会員・フリーパス・キャンパスメンバーズ)

「国立民族学博物館友の会」は国立民族学博物館と市民の間のかけはしとなる役目を担い、講演会などの催しものや出版物などとおして、民博のさまざまな活動や研究成果を紹介した

平成 28 年度友の会増強他：

- ・ 友の会講演会開催案内（一般公開）ちらしを行政機関と連携し周辺施設等へ配付
 - ・ 増強キャンペーンを実施：館内の夏の観覧無料期間（8/1～30 高校生以下と 65 歳以上の方対象）の来館者対象に特典付きの友の会入会キャンペーンを実施
 - ・ フリーパス会員のサービス内容の見直し：継続時の 1 ヶ月延長のサービスを追加
 - ・ みんなく紹介及び「みんなく活用術」のチラシの作成、モノレール沿線・各施設へ設置
 - ・ ららぽーと EXPOCITY 内 Inforest すいたでの、みんなくフェアへの協力（9/1～10/31）
- ③ 国立民族学博物館広報誌『月刊みんなく』の編集協力・制作及び編集事務を受託し実施
 - ④ 国立民族学博物館オリジナルカレンダーを制作し広報活動をおこなった。
 - ⑤ 国立民族学博物館外部広報事業 カレッジシアター「地球探究紀行」の開催協力をおこなった。（会場：あべのハルカス近鉄本店ウィング館 9 階 Space 9）
国立民族学博物館のさまざまな研究テーマで、わかりやすくてのしめるプログラムを企画
主催：産経新聞社 共催：近鉄文化サロン、スペース 9
特別協力：国立民族学博物館、千里文化財団

3) 国立民族学博物館来館者の学習支援事業

- ① 展示案内学習支援等業務を受託し実施
- ② 研究資料整理・情報化及び利用管理業務を受託し実施
- ③ 民族学資料共同利用窓口業務を受託し実施
- ④ ゼミナール・研究公演等受付案内業務を受託し実施
- ⑤ 「みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう」実施業務を受託し実施
- ⑥ シャトルバス利用者の誘導・看視及び案内等業務を受託し実施
- ⑦ 関連催し物の開催支援各種業務を受託し実施

JICA「博物館集中コース」ミュージアム・レポート発表開催事業実施業務

JICA「ミュージアムショップマネージメント、商品開発」講義 他

4) 国立民族学博物館活動に協力する各種事業

国立民族学博物館特別展及び企画展に対する協力として各種広報活動を実施した。

特別展「夷酋列像—蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界（2/25～5/10）」、「見世物大博覧会（9/8～11/29）」、「ビーズ一つなく かざる みせる（平成29年3/9～6/6）」の各種広報活動をおこなった。

3. 博物館活動支援及び調査研究事業

博物館に集積された知的財産を活用するプログラムを企画し、そのあり方を調査研究するとともに博物館活動を支援した。

1) 博物館に集積された資料と情報の活用方法及び博物館等の連携のあり方に関する調査をおこなった。

① 出前授業プログラム開発及び普及

平成28年度実施した出前授業：

9月3日（土）相楽東部広域連立立笠置小学校

（参加人数：15名 内訳：1年生～6年生10名 大人他5名）

テーマ：ペーパークラフトのブーメランをとばす

京都府教育委員会から「京のまなび教室」（生涯学習）としての依頼

② 各地の博物館等の施設を活用する巡回展

平成28年度実施した巡回展：

瀬戸内国際芸術祭2016連携事業

「イメージの力 —国立民族学博物館コレクションにさぐる」

会期：10月8日（土）～ 11月27日（日） 51日間

入場者数：7,163人

2) 博物館運営や展示のあり方に関する調査研究

指定管理者制度における博物館運営に関する調査、巡回展のための什器に関する調査、博物館におけるミュージアム・ショップの役割に関する調査をおこなった。

3) 各地の博物館展示案内等の編集業務

日本生命財団より、九州歴史資料館展示案内『交流のかなめ ふくおか』（平成29年2月20日発行）の編集協力を受託し実施した。

フォッサマグナミュージアムより、展示解説『フォッサマグナってなんだろう』の第4版を受託し実施した。

4.地域活性化、文化振興協力事業

多様な文化の振興をめざし、各種文化活動に協力

- 1) 松下幸之助記念財団から、第25回「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務を受託し実施した。

5月：選考委員会の開催

6月：推薦人へ推薦の依頼文書送付

8月～9月：推薦内容の集約及びまとめ 10月：選考委員会の開催

参考) 平成29年2月4日：第25回「松下幸之助花の万博記念賞」受賞式

- 2) 「日本展示学会」の事務業務を受託し実施した。

会員管理、理事会・総会・研究大会（6月）及び「展示論講座」（9月）の開催協力

- 3) 同人雑誌『千里眼』の編集を受託し、第134号～第137号の4号を発行した。

貸借対照表

平成29年3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部	円	円	円
1. 流動資産			
(1) 現金預金	15,550,315	7,524,337	8,025,978
(2) 未収入金	18,636,211	20,913,196	△ 2,276,985
(3) 貯蔵品	44,304,283	45,069,287	△ 765,004
(4) 前払費用	1,721,715	1,721,441	274
流動資産合計	80,212,524	75,228,261	4,984,263
2. 固定資産			
基本財産			
(1) 基本財産特定資産	25,500,000	25,500,000	0
基本財産合計	25,500,000	25,500,000	0
その他の固定資産			
(1) 車輛	137,000	240,678	△ 103,678
(2) 什器備品	344,600	136,414	208,186
(3) 電話加入権	594,951	594,951	0
(4) 差入保証金	1,100,000	1,100,000	0
その他の固定資産合計	2,176,551	2,072,043	104,508
固定資産合計	27,676,551	27,572,043	104,508
資産合計	107,889,075	102,800,304	5,088,771

科目	当年度	前年度	増減
II 負債の部	円	円	円
1. 流動負債			
(1) 未払金	97,253,233	94,267,181	2,986,052
(2) 前受金	850,000	0	850,000
(3) 預り金	271,394	271,696	△ 302
流動負債合計	98,374,627	94,538,877	3,835,750
負債合計	98,374,627	94,538,877	3,835,750
III 正味財産の部			
正味財産	9,514,448	8,261,427	1,253,021
負債及び正味財産合計	107,889,075	102,800,304	5,088,771

■平成 28 年度理事会及び評議員会の開催状況

理事会

第 18 回理事会（4 月 18 日開催 ※書面）での審議事項

- | | |
|------|---|
| 審議事項 | 第 1 号議案：評議員の辞任に伴う後任候補者の推薦について
第 2 号議案：理事の辞任に伴う後任候補者の推薦について
第 3 号議案：第 8 回評議員会（書面）の招集及び付議議案について
付議議案 ・ 評議員の辞任に伴う選任について
・ 理事の辞任に伴う選任について |
|------|---|

第 19 回理事会（6 月 2 日開催）での審議事項

- | | |
|------|---|
| 報告事項 | 第 8 回評議員会（書面決議）について |
| 審議事項 | 第 1 号議案：平成 27 年度事業状況報告について
第 2 号議案：平成 27 年度収支決算報告について
第 3 号議案：第 9 回評議員会の招集及び付議議案について
付議議案 ・ 平成 27 年度事業状況報告について
・ 平成 27 年度収支決算報告について |

第 20 回理事会（平成 28 年 7 月 1 日開催 ※書面）での審議事項

- | | |
|------|--|
| 審議事項 | 第 1 号議案：評議員の辞任に伴う後任候補者の推薦について
第 2 号議案：第 10 回評議員会（書面）の招集及び付議議案について
付議議案 評議員の辞任に伴う選任について |
|------|--|

第 21 回理事会（平成 28 年 10 月 18 日開催）での審議事項

- | | |
|------|--|
| 審議事項 | 第 1 号議案：平成 28 年度上半期実施事業報告について
第 2 号議案：平成 28 年度下半期追加事業報告について |
| 報告事項 | ・ 友の会制度の見直しについて
・ 平成 29 年度事業計画（案）について
・ パートタイマー就業規則（案）について |

第 22 回理事会（平成 29 年 2 月 16 日開催）での審議事項

- | | |
|------|---|
| 審議事項 | 第 1 号議案：平成 29 年度事業計画(案)について
第 2 号議案：平成 29 年度収支予算(案)について
第 3 号議案：第 11 回評議員会の招集及び付議議案について |
| 報告事項 | ・ 少額寄附金制度（人間文化研究機構）の創設について
・ 評議員及び役員（理事・監事）の任期満了に伴う選任について |

評議員会

第8回 評議員会（平成28年5月6日 ※書面）での審議事項等

- 審議事項 評議員及び理事の辞任に伴う後任候補者の選任について
評議員辞任の申し出があった方：
- ・石丸達郎氏(株式会社大林組 執行役員)
 - ・竹口文敏氏(大阪ガス株式会社 理事秘書部長)
 - ・鍋谷剛氏(オムロン株式会社 グローバル人財総務本部 総務部長)
- 後任候補者：
- ・絹川直氏(株式会社大林組大阪本店 総括部長兼総務部長)
 - ・今井敏之氏(大阪ガス株式会社 秘書部長)
 - ・石原仁司氏 (オムロン株式会社 グローバル人財総務本部 総務部長)
- 理事辞任の申し出があった方：
- ・杉本星子氏(京都文教大学総合社会学部 教授)
- 後任候補者：
- ・泉拓良氏(京都大学大学院総合生存学館特定教授)

第9回 評議員会（平成28年6月23日）での審議事項等

- 報告事項 理事会の審議事項等について
第8回評議員会について
評議員の辞任及び後任候補者について
- 審議事項 第1号議案 平成27年度事業状況報告について
第2号議案 平成2年度収支決算報告について

第10回 評議員会（平成28年7月15日※書面）での審議事項等

- 審議事項 評議員の辞任に伴う後任候補者の選任について
評議員辞任の申し出があった方：
- ・植田良壽氏（近畿日本鉄道株式会社取締役常務執行役員）
 - ・田路耕一氏（西日本旅客鉄道株式会社秘書室長）
- 後任候補者：
- ・白川正彰氏（近畿日本鉄道株式会社取締役常務執行役員）
 - ・川端則安氏（西日本旅客鉄道株式会社秘書室長）